



2才児の健康診査

ニコニコ笑っている赤ちゃんに、初めから終るまで泣きつづけてお母さんを困らせている子に、たちで会場はまるで小さな戦争といった表現がピッタリ。これは市衛生課が毎月1回定期的に行っている「2才児の健康診査」の一コマ。

市内には2才児の赤ちゃんが約3500

人、毎月1回に約300人の赤ちゃんが市内の市立体育館と富士駅南の勤労者会館および入山瀬の母子健康センターの3会場で、この2才児と3才児の健康診査を行っています。

特に2才児は心身の発達がいちじるしい時期にあたるため、お母さんたちに、赤ちゃんの発育状態などを

知っていただくとうりや身長、胸囲体重測定のほか保健所および市の保健婦、栄養士さんが赤ちゃんの発育精神、栄養のバランス等についての保健指導も行っています。

元気な赤ちゃんいつまでもすこやかに育ってください。

また3才児の健康診査は、発育の状態や疾病の有無、歯および精神発達の検査を念入りに行い、肢体不自由児や心身障害児など早期発見につとめています。



春の花「パンジー」 公共花だんに無料配布

市みどりの課は、春に咲く花「パンジー」の無料配布を2月22日から25日まで市役所西側広場で行いました。これは環境美化運動の一環として6年前から実施しているもので、2月18日までにハガキで申込んだ公共性のある町内の花壇や商店街、学校などの250の花壇が対象に配分されました。この赤、白、紫、黄など色とりどりの美しいパンジー2万5,000本（1本16円）は市内傘木の栽培農家と富士宮市の農家へ委託栽培させたものです。

また「みどりの課」では、春はパンジー、夏はサルビアとマリーゴールド、冬は葉ボタンを無料配布していますが、植える時には十分に水を与えてくださいと指導しています。



ぼく、もうすぐ1年生だよ 新入学児童は約4,000人

この4月に新入学する子どもの身体検査が去る1月中旬から2月の初旬にかけて行なわれ、あとは入学を待つばかり。「ぼくもう1年生だよ」

この身体検査は、からだの状態を本人やお母さんたちに知ってもらうため内科、歯科、視力色盲などの各検査を行ったもので、悪いところは入学までに治しておこうというものです。ことしの新入学児童は3,992名で、各学校別では鷹岡小が406名で断然多く、次いで富士一小の365

名、広見小の308名、今泉小の277名、田子浦小の273名などとなっています。学校別の新入学児童数は次のとおりです。

鷹岡小(406) 富士一小(365) 広見小(308) 今泉小(277) 田子浦小(273) 岩松小(251) 吉原小(234) 大淵一小(228) 富士南小(215) 伝法小(203) 富士二小(188) 吉永一小(161) 原田小(154) 須津小(154) 元吉原小(151) 富士見台小(150) 丘小(138) 東小(65) 神戸小(65) 吉永二小(22) 大淵二小(14)



4月10日オープン 富士勤労者体育センター

市内大淵の総合運動公園内に建設中の「富士勤労者体育センター」が4月10日オープンします。

この体育センターは雇用促進事業団が中小企業に働らく勤労者の福祉増進をはかるために建設したものですでに県下では菊川、島田など5カ所に建設されています。市では、公式戦のできるものに…と市独自で1億円を支出、促進事業団の建設資金1億円と県が1千万円のあわせ2億1千万円で昨年9月着工、この3月末完成の予定。規模は鉄筋平屋建て、床面積2,174平方メートルでバレー、バスケット、卓球、テニスの公式戦ができるほか、トレーニングルームなども設けられています。オープンの4月10日には東京オリンピックバレーで活躍した東洋の魔女笠井（現在は中村）選手らを招くことになっています。



52年農地転用実績まとめ

年間48万平方メートルの農地が住宅敷地や駐車場に

富士市の農地転用実績がこのほどまとまりました。市農業委員会がまとめた昭和52年1月から12月までの1カ年間に農地が住宅敷地をはじめ駐車場、倉庫や植林、道水路などに転用された面積は、実に47万5,051平方メートルでこの内訳は田が受付件数559件の22万9,117平方メートル、畑が686件の24万5,934平方メートルの農地がつぶれ、他に転用されたこととなります。

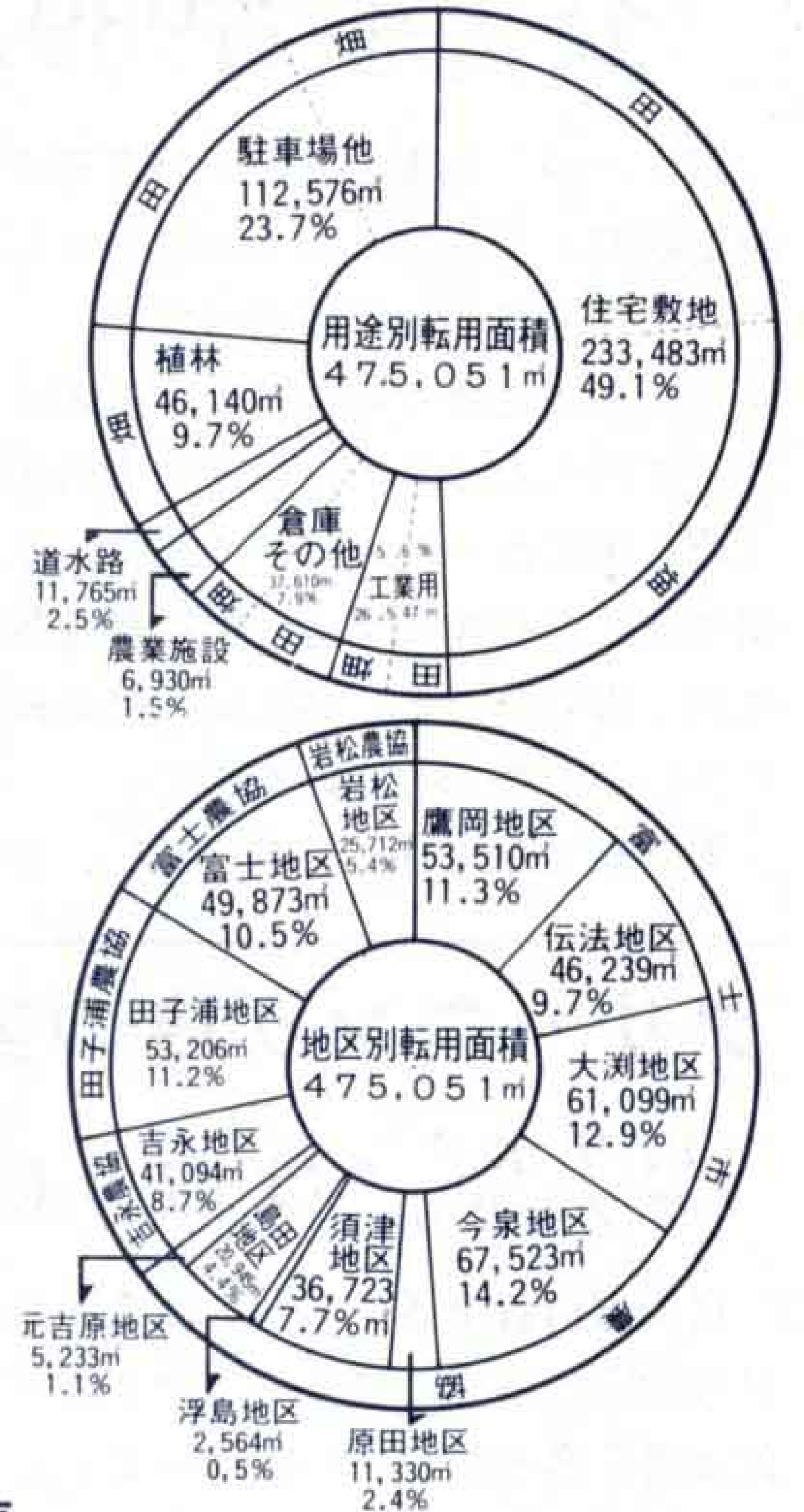
これを用途別にみますと住宅敷地が23万3,483平方メートルで全体の49.1%を占めトップ。次いで駐車場その他が23.7%の11万2,576平方メートル、植林が9.7%の4万6,140平方メートル、倉庫その他が7.9%の3万7,610平方メートル、工業用地が5.6%の2万6,547平方メートル、道水路が2.5%の1万1,765平方メートルなどとなっています。

地区別では今泉がトップ

また地区別では、富士市農協関係の今泉地区が14.2%の6万7,523平方メートルで第1位、次いで大淵地区が12.9%の6万1,099平方メートル、鷹岡地区が11.3%の5万3,510平方メートル、伝法地区が9.7%の4万6,239平方メートル、須津地区が7.7%の3万6,723平方メートル、島田地区が4.4%の2万945平方メートルなど。

このほか田子浦地区では、全体の11.2%の5万3,206平方メートルの農地がつぶされたのをはじめ富士地区が10.5%の4万9,873平方メートル、吉永地区が8.7%の4万1,094平方メートルなどとなっています。

用途別転用面積（農協別）と地区別転用面積は次のパイグラフおよび下の表のとおりです。



地区別農地転用実績表

昭和52年1月～12月まで（単位・㎡）

地区名	地目別	総数		住宅敷地		工鉱業用地		倉庫その他の施設		道・水路敷地		農業用施設		植林		駐車場他	
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鷹岡	田	18	9,126	7	2,576	4	2,038	1	431	2	100					4	3,981
	畑	147	44,384	106	31,346	2	339	6	1,675	21	2,314	4	2,816	2	116	6	5,778
岩松	田	91	21,278	67	15,324	2	983	3	453	9	613	1	127			9	3,778
	畑	21	4,434	18	3,958			1	265	2	211						
富士	田	150	44,888	108	27,955	6	2,863	8	2,717	10	684					18	10,669
	畑	20	4,985	17	4,039	2	798								1	148	
田子浦	田	152	47,719	103	23,306	2	1,400	11	4,900	13	671	4	348			19	17,094
	畑	17	5,487	8	1,627	2	1,017	2	1,113	2	220			1	416	2	1,094
元吉原	田	7	1,549	6	1,381											1	168
	畑	18	3,684	14	1,749			1	215	2	269					1	1,451
島田	田	21	20,945	9	3,275	1	399	2	3,963							9	13,308
	畑																
伝法	田	46	20,355	20	6,631			14	7,537	3	967					9	5,220
	畑	81	25,884	59	16,028	4	3,203	2	265	6	588					10	5,800
大淵	田																
	畑	102	61,099	57	17,946	5	10,218	1	21	23	3,078	2	961	9	17,759	5	11,116
今泉	田	22	28,074	2	2,248	4	2,110	5	6,219							11	17,497
	畑	167	39,449	134	34,351			9	3,207	19	1,351			1	2	4	538
原田	田	2	72			1	23									1	49
	畑	41	11,258	29	6,069	1	214	3	1,189	4	349			3	1,352	1	2,085
吉永	田	11	10,235	3	312	2	942	1	741							5	8,240
	畑	41	30,859	31	6,453					1	125	2	2,446	5	19,044	2	2,791
須津	田	36	23,940	25	20,209			3	1,534	4	194	2	232			2	1,771
	畑	28	12,783	20	4,885			3	416	3	31			2	7,451		
浮島	田	3	936	3	936												
	畑	3	1,628	2	879			1	749								
合計	田	559	229,117	353	104,153	22	10,758	48	28,495	41	3,229	7	797			88	81,775
	畑	686	245,934	495	129,330	16	15,789	29	9,115	83	8,536	8	6,223	23	46,140	32	30,801
	計	1,245	475,051	848	233,483	38	26,547	77	37,610	124	11,765	15	6,930	23	46,140	120	112,576

公害被害認定状況

公害患者939人・鷹岡地区の109人がトップ

富士市の2月末現在の「公害被害認定状況」がこのほどまとまりました。市環境部衛生課の調べでは、こんど認定審査会で新たに公害患者に認定された人は7人。反対に失効者（或る程度治った人）は4人で、差引き前月より3人増え、実認定者数は国と市の分を含め939人を数え毎月少しずつ増加しています。

男女別でみると男516人、女

423人の計939人で疾病別では、気管支ぜんそくが圧倒的に多く793人（女350人）、次いで慢性気管支炎74人（女46人）、肺気腫26人、その他46人となっています。

また、これまでの失効者は426人でこのうち治った人155人、死んだ人59人、そのほか市外へ転

出した人9人、法律改正によって国へ移った人203人となっています。

地区別では、鷹岡地区がトップで109人、次いで今泉地区96人、吉原地区89人、田子浦地区82人の順となっています。



クリーニング店の実態調査

飾りボタン アクセサリーは取りはずして

富士市消費生活モニターは2月21日市役所で市内のクリーニング店の代表者8名と話し合いを行いました

これは去る2月13日から2月18日まで30名のモニターが市内のクリーニング店の実態調査を行ない、この結果をもとに業者と話し合いを行ったもの。ことし市の相談窓口によせられたクリーニング相談は5件の苦情があり、また県内では64件でクリーニング相談105件のうち61件を含めています。

苦情の内容は変色、紛失が一番多く、また新たな問題として合成樹脂などによるボタンなどの普及で型がくずれたり、溶けてしまったなどのケースがでています。

今回の調査はワイシャツ、ズボン

スカート、セーターの4品目について調べましたが、モニター30名中、問題があった人は9人で仕上げ

など悪かった9件、よごれ落ちしない3件、ちぢみ2件など14件のクレームがだされました。

価格についてみると、前回（52年7月中旬）にくらべ平均価格はスカート24.3円を筆頭にセーター17.1円、ワイシャツ5.3円、ズボン4.6円とそれぞれ値上りしていました。

特に今回の調査で目立ったことは高値、安値のひらきが大きかったことで、スカートの600円をはじめズボン350円、セーター250円、ワイシャツ100円と差がありました。

また、業者との話し合いで主なも

のは消費者から業者に対し

取次店システムをもつクリーニング業者は、サービス面や勉強不足が目立ち、もっと従業員を教育してほしい。仕上げた品物が入っているビニール袋を、一部消費者は保存袋と思いこんでしまい、あとでカビやシミをつくった例もあるので保存袋でないことを明記してほしい。

また、業者から消費者には

飾りボタンやアクセサリーなどは破損や紛失の原因になるのでクリーニングに出すときは取りはずしてほしい。もう一つは、仕上げた品物はその場で確認してほしいなどの要望が出ました。

特定行政庁

4月1日から開設

市はこの4月1日から特定行政庁を開設することになりました。すでに53年度予算にも同開設費として

509万8,000円が計上されています。

いままでは建築確認申請などの建築関係業務は市が受付て県の富士土木事務所へ提出していましたがこの4月1日からは県が扱っていた建築関係業務一切を市が担当することになり、市民にとってはいろいろと手数もはぶけ便利になります。

富士市の人口動態

地区別では「田子浦」が第1位 町内別では「森島」が第1位

特に新興住宅団地の伸びが目立つ

市の市民部市民課は、このほど本年1月1日現在の地区、町内別の人口動態をまとめました。

市の総人口は、20万5,552人で前年の同期にくら1,689人が増え、また世帯数では5万70,14世帯で前年同期にくらべ494世帯の増となっています。またこの人口を性別にみえますと、男が10万3,422人、女が10万2,130人で男が1,292人とやや多くなっています。これを市内17地区別にみるとトップが田子浦、ついで鷹岡今泉、富士北、富士南地区の順になっています。

- | | |
|-------------|----------|
| (1) 田子浦地区 | 1万9,797人 |
| (2) 鷹岡地区 | 1万9,456人 |
| (3) 今泉地区 | 1万9,231人 |
| (4) 富士北地区 | 1万6,994人 |
| (5) 富士南地区 | 1万4,982人 |
| (6) 岩松地区 | 1万4,953人 |
| (7) 吉原地区 | 1万4,167人 |
| (8) 広見地区 | 1万2,369人 |
| (9) 伝法地区 | 1万2,257人 |
| (10) 大淵地区 | 1万0,907人 |
| (11) 元吉原地区 | 1万0,309人 |
| (12) 吉永地区 | 1万0,002人 |
| (13) 須津地区 | 8,890人 |
| (14) 原田地区 | 7,923人 |
| (15) 丘地区 | 6,370人 |
| (16) 富士見台地区 | 4,790人 |
| (17) 浮島地区 | 2,060人 |

その他 98人

この中で人口増加の最も多いのが富士見台地区でこの1年間に1,596人と市全体の増加数に匹敵するほどでこれは新興住宅地として公営住宅の建設や一般住宅が建てられている結果が如実に物語っています。

このほか大淵、岩松、鷹岡、丘、田子浦地区など中心街を離れた地区が目立って人口が多く、ドウナツ型現象を起しています。また人口の減っている地区は元吉原地区をはじめ伝法、吉永、原田、富士北地区など。

また、これを更に町内別にみると320町内の中で、最も人口の多いのが森島の2,868人、次いで石坂の2,781人、厚原西の2,691人、厚原東の2,219人、橋下の2,154人の順となっています。反対に最も少ない町内をあげてみると、千束の10人、平垣本州社宅の54人、石井の60人、勢子辻の70人、八代町の88人、十兵衛北の90人などとなっています。



〔写真・混雑する市民課窓口〕

印鑑証明などの 交付は早目に

3月は、入学・進学をはじめ就職転勤など異動の時期で、市民課窓口はいつもの月にくらべたいへんに混雑します。

印鑑証明、戸籍謄、抄本や住民票の写しなどの申請手続きは、事前に計画をたて、早目にお出かけください。

特に土曜日が一番混みあいますので、急ぎでないものは、土曜日以外の日にしていただくよう格別のご協力をお願いします。届出の手続きなどでお困りの方は、市民課の「記載案内所」で気軽にお尋ねください。

「眼」についての相談

気軽に沼津盲学校へ

沼津盲学校視覚教育相談室では、毎週月曜日から金曜日の午後1時から4時まで「眼」についての相談を開いています。内容は乳幼児で「眼が悪いので

は…」という心配のあるお子さんについて検査、保育相談、早期教育のほか、小中学生で視力が弱いため日常の学習が困難な子どもの教育相談や高校生から大人の方で視力が落ちて職業、生活等について心配のある方の厚生相談などを行っています。相談を受けたい方は電話(0559)21-2099へ連絡の上、気軽にお出かけください。

地震予知とあなたの暮らし①



わが国は、世界有数の地震国であり、過去において、マグニチュード7以上の大地震にたびたび見舞われ大きな被害をこうむっています。

特に東海地域については、一昨年初、大地震発生の危険性が指摘されたのを契機として、社会的に大きな関心が集められています。

地震災害から、貴い人命や財産を守るためには、できるだけ早く、地震の発生を予知することがたいへん

重要です。このため政府は、地震予知の研究、観測を強力に進めるとともに、大地震発生の可能性を緊急に判定するための組織として、東海地域判定会を設置しました。

地震予知は夢ではない

地震による災害は、あらゆる災害のなかでもっともおそろしいものです。それはとつぜんおそってきて、大きな被害をもたらすからです。科学技術の発達で、いまでは台風は南の海上で発達してからひきつづき動きをとらえることができますし、急にくることでおそれられていた津波も完全とはいえませんが予報ができるようになりました。

しかし、私たちが住んでいる地面の下のことは意外に複雑でナゾの部分が多く地震のくわしいしくみや地

震予知は、未だ研究開発の段階にあり、必ずしも確実に予知ができるわけではありませんが、東海地域に張りめぐらしたヒズミ計などが急激に異常を示した場合、ただちに判定会が開かれ本当に地震がおこるか否か、緊急に判定し、みなさんにすみやかに連絡されることになっています。

震がいつ、どこでおこるかはわかりませんでした。それこそ「地震のことはナマズにきけ」というほかはありませんでした。

地震がおこるのを前もって知ることができたら…。これは地震国日本に住む私たちの夢でした。

ところが最近この夢が実現になるうとしています。「大地震がおこる前に、これをなんとか予知してみなさんにつたえよう」というこれまでになかった新しいころみが始まっているのです。(つづく)

富士電報電話局では電話をじょうずに便利にお使いいただくように、電話のつながり具合をいつも調査し「希望したとき希望した相手に一度でつながる電話」にするために努力していますが、調査結果をみますとつぎのようになっています。

◆1回でつながった数 約24万回

◆1回でつながらなかった数 約9万回 (1日中の平均)

この内訳はつぎのとおりです。

①かける側のダイヤルミス約3万回

ア、ダイヤルの途中で止める約2万4千回

イ、ダイヤルのし方の悪いもの

約2千回

ウ、ダイヤルした後すぐ切る

約4千回

②お話し中や相手不在約6万回

つながりにくい原因に、①相手の方がお話し中、②いくら呼んでも相手の方が出ない、といった場

き、メモをみながらダイヤルしましょう。

▶ ダイヤル途中で5秒くらい間をおきますとつながりません。休まずダイヤルしましょう。

▶ 市外へかけたときは、ダイヤルし終わってもすぐに呼出し音が

出ませんが、故障ではありません。そのまま暫らく待ちましょう。

▶ 相手がお話し中のときは、3分くらい間をおいてかけ直しましょう。

▶ すぐに相手が出ないときでもあきらめないうで、呼出し音が10回程度鳴り終わるまで待ってみましょう。電話の事でお困りの方は104番(案内係)へ



電話をじょうずに使いましょう

合もありますが、かけ損ないによるものが少なくありません。

電話局では日頃からお客さまに正しく、じょうずにご利用いただくよう呼びかけておりますが、次の点についていっそうのご協力をお願いいたします。

▶ 相手の電話番号はメモしてお

ワラワふじ

春の花「パンジー」

公共花だんに無料配布

市みどりの課は、春に咲く花「パンジー」の無料配布を2月22日から25日まで市役所西側広場で行いました。これは環境美化運動の一環として6年前から実施しているもので、2月18日までにハガキで申込んだ公共性のある町内の花壇や商店街、学校などの250の花壇が対象に配分されました。この赤、白、紫、黄など色とりどりの美しいパンジー2万5,000本（1本16円）は市内傘木の栽培農家と富士宮市の農家へ委託栽培させたものです。

また「みどりの課」では、春はパンジー、夏はサルビアとマリーゴールド、冬は葉ボタンを無料配布していますが、植える時には十分に水を与えてくださいと指導しています。



ぼく、もうすぐ1年生だよ

新入学児童は約4,000人

この4月に新入学する子どもの身体検査が去る1月中旬から2月の初旬にかけて行なわれ、あとは入学を待つばかり。「ぼくもう1年生だよ」

この身体検査は、からだの状態を本人やお母さんたちに知ってもらうため内科、歯科、視力色盲などの各検査を行ったもので、悪いところは入学までに治しておこうというものです。ことしの新入学児童は3,992名で、各学校別では鷹岡小が406名で断然多く、次いで富士一小の365

名、広見小の308名、今泉小の277名、田子浦小の273名などとなっています。学校別の新入学児童数は次のとおりです。

鷹岡小(406) 富士一小(365) 広見小(308) 今泉小(277) 田子浦小(273) 岩松小(251) 吉原小(234) 大淵一小(228) 富士南小(215) 伝法小(203) 富士二小(188) 吉永一小(161) 原田小(154) 須津小(154) 元吉原小(151) 富士見台小(150) 丘小(138) 東小(65) 神戸小(65) 吉永二小(22) 大淵二小(14)



4月10日オープン 富士勤労者体育センター

市内大淵の総合運動公園内に建設中の「富士勤労者体育センター」が4月10日オープンします。

この体育センターは雇用促進事業団が中小企業に働らく勤労者の福祉増進をはかるために建設したものですでに県下では菊川、島田など5カ所に建設されています。市では、公式戦のできるものに…と市独自で1億円を支出、促進事業団の建設資金1億円と県が1千万円のあわせ2億1千万円で昨年9月着工、この3月末完成の予定。規模は鉄筋平屋建て、床面積2,174平方メートルでバレー、バスケット、卓球、テニスの公式戦ができるほか、トレーニングルームなども設けられています。オープンの4月10日には東京オリンピックバレーで活躍した東洋の魔女笠井（現在は中村）選手らを招くことになっています。



地震に備えて

これから建てる人へ

木造住宅は耐震的なものに

これから家を建てようとする方は木造住宅を対震的なものにするため次のことを守ってください。

▶敷地の選定

地盤…良い地盤をえらぶことが大切です。

- ①良い地盤…岩盤、硬い砂礫層、砂利混りの層で硬くしまったところ
- ②悪い地盤…田、沼地等を埋めたところ、腐食土、泥土、造成地等で盛土したところ、大雨のとき出水するところ。

なるべく高くしてください。悪い地盤のところでは、必ず鉄筋を入れてください。

▶腐蝕防止

床下の通気をよくするため、布基礎には換気孔をなるべく多く設けてください。特に玄関、台所、風呂場等の周りは通気をよくすることが大切です。また土台、柱の根元床組には防腐と白アリの害を防ぐための薬剤を塗布してください。

▶家の形

地震の力が建物全体を平均に伝わるような単純な形が最もよくデコボコの多い建物又は大きな部屋(24畳程度)

のある建物は地震に対して弱くなるのでさけるようにしてください。

▶壁の量

カベは多ければ多いほど、建物全体のつり合いがよく、4隅に設けることが大切です。カベのついてない独立した柱を設けることは極力さけてください。

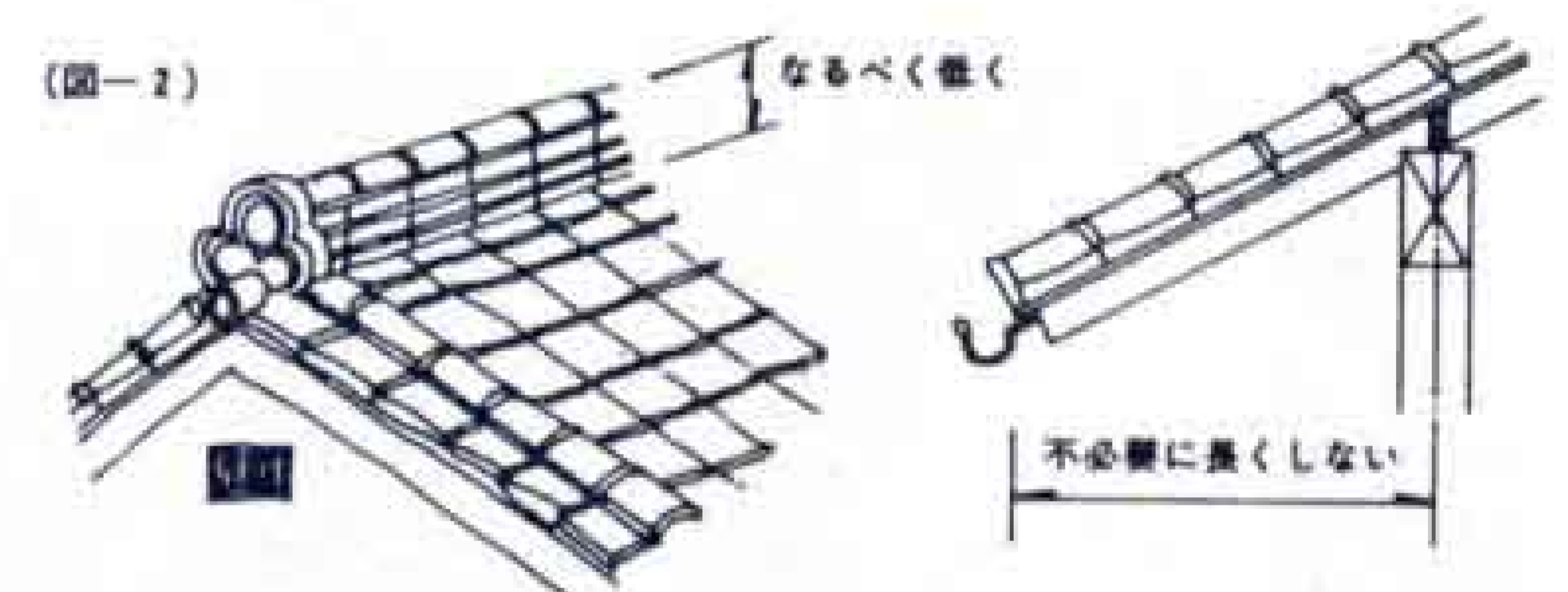
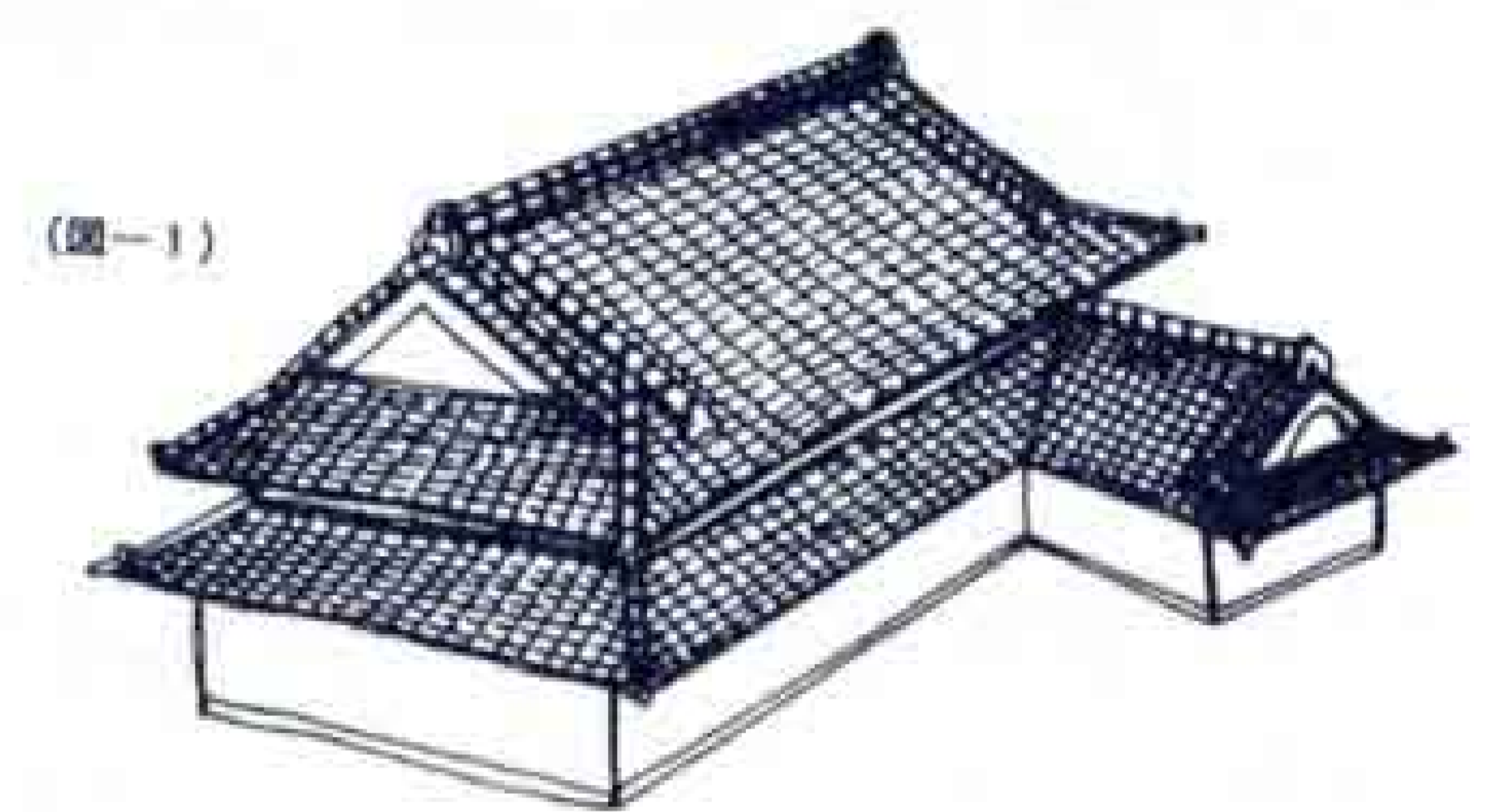
▶屋根

①屋根は、軽いフキ材の方が地震には有利です。

②瓦フキには他のフキ材にない良いところがあります。従って瓦屋根をえらぶ場合が多いのですが、瓦の重量は建物の重量の大半を占めるので、できるだけ軽くするように工夫することが大切です。

(イ)屋根全体の形を切妻等の単純なものにして、二重、三重造りの屋根はさける。

(ロ)入母屋造、寄せ棟造等の複雑なものはなるべくさける(図-1)

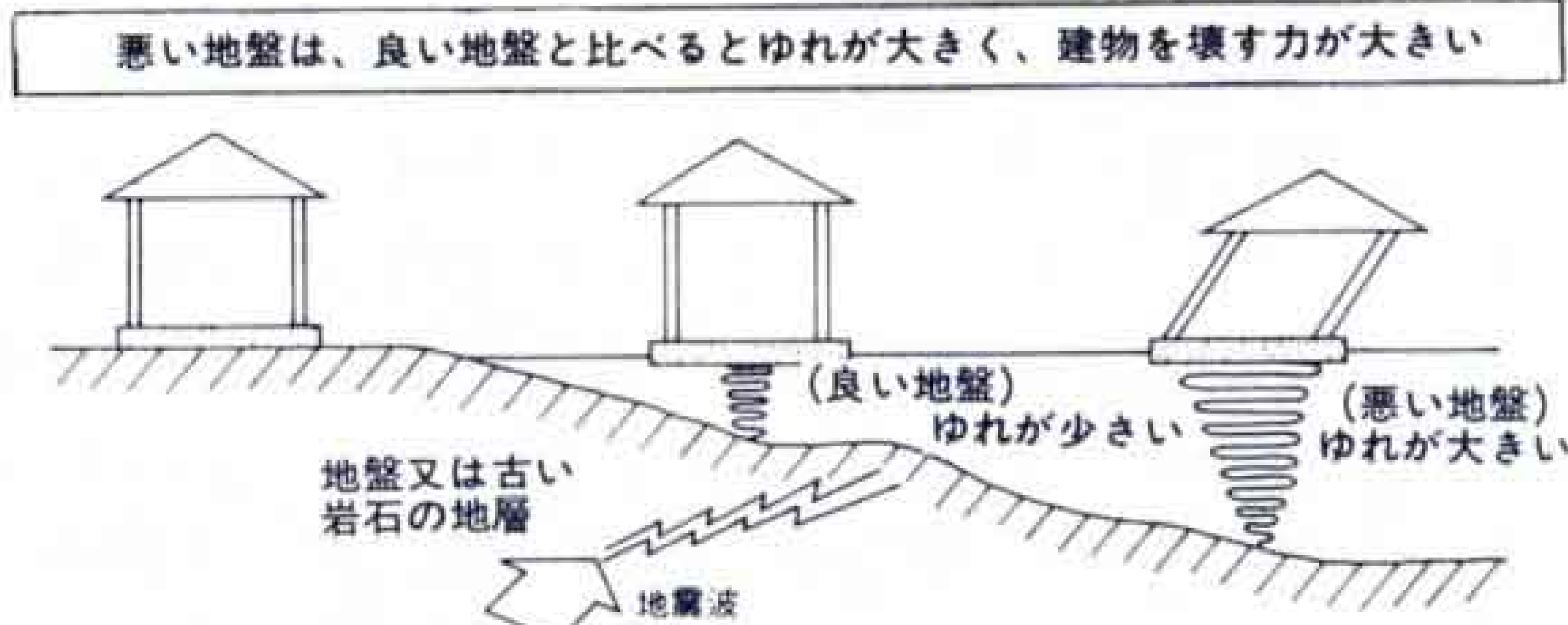


(ハ)棟瓦の高さはなるべく低くして軒の出等も不必要に長くしない(図-2)

▶2階建ての場合

2階建ての場合は、間取りを考える時に、2階の柱が1階の柱の上にくるよう配置するとともに、建物の隅柱は、通し柱を設けるようにしてください。

くわしいことについては、直接市建設部管理課(電話51-0123 内線344)の建築相談窓口でご相談ください。



周囲の状況

がけ崩れ、土石流、津波、洪水等の恐れのある敷地はさけることが大切ですが、やむを得ない場合は建物を鉄筋コンクリート造にするか又は鉄筋コンクリート造の床の高いピロティー等で造るようにしてください。

▶基礎

基礎はコンクリートの布基礎とし



3月の当直医

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。当直医院は急病のときだけご利用ください。

■3月12日

外科 神谷医院(川成島 61-5900)
米山医院(今泉1 52-0275)

産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

■3月19日

外科 中央病院(本市場 61-8800)

米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 柵山医院(厚原 71-4771)

■3月21日

外科 芦川病院(中央町2 52-2480)
快明堂医院(中央町1 51-0301)

産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

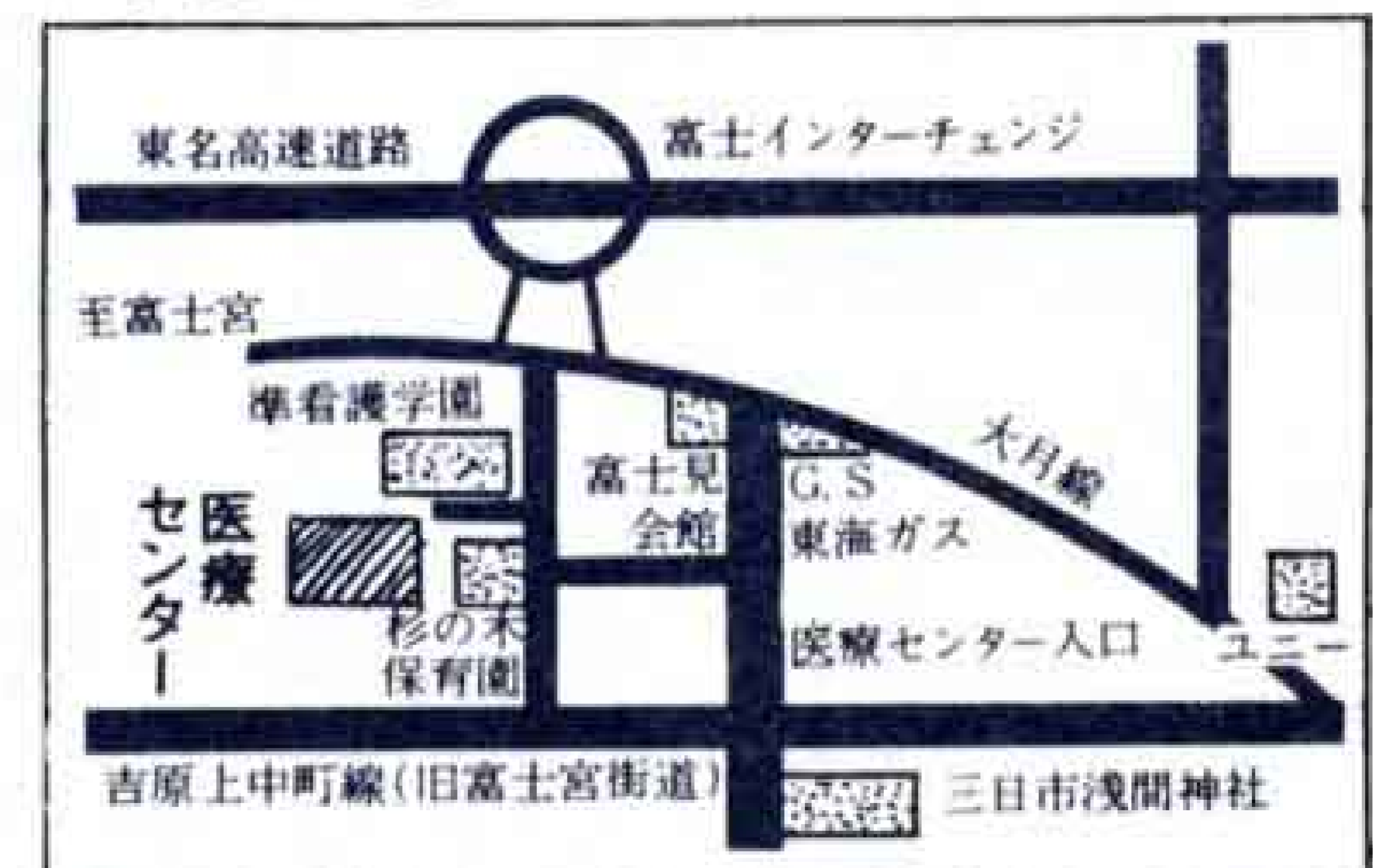
■3月26日

外科 樫村医院(柚木 63-8881)
渡辺病院(錦町1 51-3751)

産婦人科 長野医院(柚木 61-1907)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただ

し受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祭日以外は行っていません。



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。